

# 四半期報告書

(第42期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

## 曾田香料株式会社

東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号

(E01043)

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 1
- 2 事業の内容 ..... 2

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 2
- 2 経営上の重要な契約等 ..... 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 3

### 第3 提出会社の状況

- 1 株式等の状況 ..... 4
- 2 役員の状況 ..... 6

### 第4 経理の状況

- 1 四半期連結財務諸表 ..... 8
- 2 その他 ..... 16

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 17

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第42期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 澤田 定秀
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋堀留町二丁目2番1号(本社事務所)
【電話番号】	03(5645)7340
【事務連絡者氏名】	取締役管理部門長 亀井 暢之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第2四半期 連結累計期間	第42期 第2四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高（百万円）	7,419	7,830	14,534
経常利益（百万円）	522	932	1,067
四半期（当期）純利益（百万円）	292	555	614
四半期包括利益又は包括利益 （百万円）	306	919	853
純資産額（百万円）	13,850	15,417	14,567
総資産額（百万円）	19,509	20,915	19,696
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	29.21	55.55	61.47
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	69.5	70.2	71.0
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	909	430	1,785
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△264	△585	△450
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△41	△69	60
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	5,849	6,644	6,689

回次	第41期 第2四半期 連結会計期間	第42期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 （円）	15.02	30.44

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策や日銀の金融政策による円安・株高の影響などから、企業収益の改善や個人消費の持ち直し、設備投資回復の兆しがみられるなど、緩やかな回復を続けました。しかしながら、米国の財政問題や新興国経済の減速懸念などの世界経済への影響から、先行きは依然不透明な状況であります。

香料ユーザーの製品市場においては、消費者の低価格志向を背景とした製品価格の低下と競争激化に加え、主要購買層である若年層の減少等もあり、国内香料市場は依然として厳しい状況にあります。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、調合香料事業が減収となり、合成香料・ケミカル事業も前年と比較して減収となりましたが、中国市場を主力とする海外事業が大幅な増収となったことにより、7,830百万円（前年同期比5.5%増）となりました。利益につきましては、海外事業の増収や合成香料の輸出採算の改善等により、営業利益は926百万円（同76.9%増）、経常利益は932百万円（同78.4%増）、四半期純利益は555百万円（同90.2%増）となりました。

主要なセグメントの売上高は、国内事業のうち、フレグランスとフレーバリーの調合香料事業は、第1四半期の天候不順の影響等によりフレグランス、フレーバリーともに減少し、前年同期比4.0%減の3,897百万円となりました。合成香料・ケミカル事業は、合成香料の売上高は円安の影響等もあり増収となりましたが、ケミカル事業は第1四半期に一部製品で工事減産があったため減収となり、前年同期比0.5%減の1,957百万円となりました。また、海外事業は中国市場が回復し大幅増収となったことにより、前年同期比64.4%増の1,258百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して44百万円減少し、6,644百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは△155百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は430百万円（前年同期比479百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が930百万円、減価償却費が234百万円、売上債権の増加が147百万円、たな卸資産の増加が416百万円となったこと及び法人税等の支払額が144百万円となったこと等によるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は585百万円（同320百万円の支出増）となりました。これは主に有形固定資産と無形固定資産の取得によるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は69百万円（同28百万円の支出増）となりました。これは配当金の支払い69百万円によるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、502百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,000,000	10,000,000	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	10,000	—	1,490	—	1,456

## (6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町2-1-1	5,001	50.01
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1-2-1	1,500	15.00
ノムラピービーノミニーズ ティーケーワンリミテッド (常任代理人 野村證券株式会 社)	1 ANGEL LANE LONDON EC4R 3AB, U. K  (東京都中央区日本橋1-9-1)	397	3.97
曾田 義信	東京都大田区	364	3.64
曾田香料従業員持株会	東京都中央区日本橋堀留町2-2-1	333	3.33
谷本 正敏	東京都中野区	210	2.10
ビービーエイチ フォー フィデ リティ ロー プライズ スト ック ファンド (プリンシパル オールセクター サポートフ ォリオ) (常任代理人 株式会社三菱東 京UFJ銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582  (東京都千代田区丸の内2-7-1)	128	1.28
モルガン・スタンレーMUFG証券 株式会社	東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデ ンプレイスタワー	102	1.02
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	100	1.00
仙波糖化工業株式会社	栃木県真岡市並木町2-1-10	95	0.95
計	—	8,232	82.32

(注) タワー投資顧問株式会社から平成20年5月21日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成20年5月15日現在で502千株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、タワー投資顧問株式会社の大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者	タワー投資顧問株式会社
住所	東京都港区芝大門1丁目2番18号 野依ビル2階
保有株券等の数	株式 502,000株
株券等保有割合	5.02%



(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 3,500	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 9,995,900	99,959	—
単元未満株式	普通株式 600	—	—
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	99,959	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	3,500	—	3,500	0.03
計	—	3,500	—	3,500	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,689	6,644
受取手形及び売掛金	* 4,009	4,229
商品及び製品	1,015	1,264
仕掛品	1,041	979
原材料及び貯蔵品	1,110	1,373
その他	279	311
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	14,140	14,794
固定資産		
有形固定資産	4,127	4,508
無形固定資産	96	242
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,337	1,374
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,333	1,370
固定資産合計	5,556	6,121
資産合計	19,696	20,915
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	* 1,746	1,894
短期借入金	320	320
未払法人税等	121	265
賞与引当金	358	382
役員賞与引当金	11	5
その他	660	778
流動負債合計	3,218	3,647
固定負債		
退職給付引当金	1,719	1,694
役員退職慰労引当金	134	85
その他	57	70
固定負債合計	1,910	1,851
負債合計	5,129	5,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490	1,490
資本剰余金	1,456	1,456
利益剰余金	10,950	11,436
自己株式	△2	△2
株主資本合計	13,895	14,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	161
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△61	141
その他の包括利益累計額合計	84	303
少数株主持分	588	733
純資産合計	14,567	15,417
負債純資産合計	19,696	20,915

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,419	7,830
売上原価	5,026	4,957
売上総利益	2,392	2,873
販売費及び一般管理費	※ 1,868	※ 1,947
営業利益	523	926
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	10	11
受取補償金	3	—
その他	9	7
営業外収益合計	28	23
営業外費用		
支払利息	1	0
休止固定資産減価償却費	22	11
為替差損	4	3
その他	1	1
営業外費用合計	28	16
経常利益	522	932
特別利益		
固定資産売却益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産除却損	8	1
投資有価証券評価損	3	—
事務所移転費用	4	—
特別損失合計	16	1
税金等調整前四半期純利益	511	930
法人税等	197	320
少数株主損益調整前四半期純利益	314	610
少数株主利益	22	55
四半期純利益	292	555

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	314	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	15
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	16	292
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	△8	309
四半期包括利益	306	919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278	774
少数株主に係る四半期包括利益	27	145

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	511	930
減価償却費	247	234
のれん償却額	8	8
固定資産除却損	5	1
固定資産売却損益(△は益)	△5	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3	—
移転費用	4	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	21
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△67	△72
受取利息及び受取配当金	△15	△16
支払利息	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	77	△147
たな卸資産の増減額(△は増加)	85	△416
仕入債務の増減額(△は減少)	259	116
その他	△8	△97
小計	1,091	558
利息及び配当金の受取額	15	16
利息の支払額	△1	△0
移転費用の支払額	△4	—
法人税等の支払額	△191	△144
営業活動によるキャッシュ・フロー	909	430
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
有形固定資産の取得による支出	△313	△361
有形固定資産の売却による収入	5	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△147
その他	54	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264	△585
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	28	—
配当金の支払額	△69	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41	△69
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	180
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	606	△44
現金及び現金同等物の期首残高	5,242	6,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 5,849	* 6,644

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	52百万円	－百万円
支払手形	49	－

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料及び手当	645百万円	669百万円
賞与引当金繰入額	209	239
役員賞与引当金繰入額	6	5
退職給付費用	66	58
役員退職慰労引当金繰入額	13	11
貸倒引当金繰入額	－	1

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	5,849百万円	6,644百万円
現金及び現金同等物	5,849	6,644



(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	69	7	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	69	7	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	69	7	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月5日 取締役会	普通株式	79	8	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	調合香料 事業	合成香料・ ケミカル 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,058	1,966	765	6,791	628	7,419	—	7,419
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	310	243	23	577	29	607	△607	—
計	4,369	2,210	789	7,369	657	8,026	△607	7,419
セグメント利益 又は損失 (△)	423	△53	113	483	28	511	12	523

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額12百万円には、のれんの償却額△8百万円、たな卸資産の調整額39百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△19百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	調合香料 事業	合成香料・ ケミカル 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,897	1,957	1,258	7,113	717	7,830	—	7,830
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	355	297	30	682	41	723	△723	—
計	4,252	2,254	1,288	7,795	758	8,554	△723	7,830
セグメント利益	457	241	246	945	42	987	△61	926

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△61百万円には、のれんの償却額△8百万円、たな卸資産の調整額△53百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券については、企業集団の事業運営において重要なものではなく、かつ、四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引は全てヘッジ会計を適用しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	29円21銭	55円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	292	555
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	292	555
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………79百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………8円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成25年12月10日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月 5日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 木村 聡 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 打越 隆 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 澤田 定秀
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長澤田定秀は、当社の第42期第2四半期（自平成25年7月1日 至平成25年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。